

高知大学留学生センター紀要の刊行を祝福する

独立行政法人国立国語研究所長
甲斐睦朗

まず、高知大学に留学生センターが設立されたこと、そして、早速『高知大学留学生センター紀要』が刊行されることになったことにつきまして、衷心よりお祝いを申し上げます。全国を見渡しますと、国立大学中心に、留学生センターが設立されています。これも、第1にその大学が留学生を多数受け入れていること、第2にその大学が地域の留学生受け入れの拠点になっていること、第3にその大学が一致協力して留学生の受け入れに携わっていること、第4に留学生センターに優れて適格な教官が配置されていることなどがあって、はじめて留学生センターの設立が認可されているようです。そういう意味で、高知大学に留学生センターが設立されていることにつきまして、本当に心からお祝いを申し上げる次第であります。

それにつきましても、高知大学留学生センターの果たすべき役割には、期待すべきものがあります。高知県という日本に占める大切な地域における役割がある一方で、全国に発信することによって、全国の数多くの留学生の在り方に様々な問題提起を行う役割などが考えられるからです。

そうした意味で、『高知大学留学生センター紀要』が発刊されることは、たいへん大きな意義を持つものと期待されます。この意義につきましては、第1に、高知大学内の留学生問題についての理解を図ること、高知県下、四国管内の留学生問題の掘り起こし及び理解を図ること、そして、全国への発信を図ることをはじめとして、様々な意義を挙げることができます。

以上、『高知大学留学生センター紀要』の発刊に際して、お祝いを申し上げ、本紀要が今後、有意義な刊行物として大きく成長することを祈念いたします。

平成17年3月1日